

麻布中-対策法

社会 (40点/50分)

【1】【2006年出題内容】

麻布の社会では、1題の分量がある総合問題が出題され、地理・歴史・政治の全分野の知識を様々な角度から問われます。2006年も同様の形式が踏襲されました。下の設問は2006年の問いのすべてです。

- 問1 空らん【 ① 】から【 ④ 】にあてはまるもつとも適当な語を書きなさい。
- 問2 下線部アについて。当時このような税はどのような名称^{かしょう}でよばれていましたか。漢字1字で書きなさい。
- 問3 下線部イについて。ふすまの裏に残されたこのような紙は、当時は不要とされたものでしたが、現在の私たちからみると、とても貴重なものとなることがあります。どのような点で貴重となるのですか、答えなさい。
- 問4 下線部ウについて。「美濃」と「土佐」は現在の何県にあたりますか、答えなさい。
- 問5 下線部エについて。幕府が、この頃、全国各地の地図を作ることを援助した理由を答えなさい。
- 問6 下線部オについて。和紙とは異なる洋紙の特徴は何ですか、2つあげなさい。
- 問7 下線部カについて。民主主義社会にとって、なぜ新聞の伝える情報は必要なのでしょう、説明しなさい。
- 問8 下線部キについて。新聞社が広告料にたよることが、なぜ新聞記事の内容に影響を与える可能性があるのでしょうか、説明しなさい。
- 問9 下線部クについて。今では新聞社もそれぞれ独自のホームページを持っていますが、そのホームページと比べて、新聞の紙面はどのようにちがっていますか。おもなちがいを2つあげて、「新聞は」という書き出しに続くように書きなさい。なお、必要があれば、6ページの資料を参考にしなさい。
- 問10 下線部ケについて。私たちの生活に役立っている紙の用い方の例を、情報伝達の手段以外で1つ取りあげなさい。そして、それが紙のどのような性質を利用しているのかを説明しなさい。
- 問11 下線部コについて。なぜ現在の社会は、より大きな困難に直面することになったのですか。60字以上100字以内で書きなさい。ただし、句読点も1字分とします。
- 問12 下線部サについて。紙と私たちの社会は、切っても切れない関係にあります。例えば、新聞が民主主義の発達に大きな役割を果たしたことは、すでにふれたとおりです。では新聞以外で、紙を使った情報伝達の手段を1つ取りあげ、それを用いて私たちがどんな特色を持った社会をつくりあげてきたのか、120字以上160字以内で書きなさい。ただし、句読点も1字分とします。

【2】 【 傾向と対策 】

上でみていただいた通り、設問の約 3 分の 2 が記述式の問題であり、100 字を超える記述もあります。かつては 400 字を超えるものも出題されてきました。なぜこのような長い記述を要求するといいますと、詰め込みの知識だけでなく、論理的に考える能力をみるためです。

短い記述ですと単に知識を吐き出すだけの問題になってしまい、詰め込み教育を助長してしまいます。これに対して、記述を長くすればするほど書き手は論理的なミスを犯しやすくなりますから、単なる暗記だけでは太刀打ちできないのです。基礎知識を頭にインプットしたら、次にその知識をアウトプットできるようにしなければならないのです。麻布対策には基礎知識だけでなく深い理解や表現力も必要だと言われるのはこのためです。

しかし、このように言われても、普段どのように勉強してよいのかわからない人がほとんどだと思います。そこで、麻布の過去問の進め方を考えてみてください。麻布の問題は、あるテーマについて、地理・歴史・政治のあらゆる側面から考えさせる問題です。そうすると、「考える」以前に、基本的なキーワードについてはあらかじめ知っていることが前提となります。ですから、過去問を解く前に、基本的なキーワードをしっかりと頭に入れておかねばならないのです。

基本事項を身につけるためには、「体系」がとても重要です。気まぐれに問題を解いたり、融合問題に手を出したりするのは遠回りになります。そうではなくて、体系のしっかりした問題集を早めに 2~3 回転するのが王道です。どういう問題集があるかは開成のコーナーで紹介していますので、そちらをご覧ください。このような作業は秋以降では遅すぎますから、夏休みの難問演習の前までにすませておくのが理想的です。

【3】 【 麻布社会 合格への道程 】



合格可能性 80%



合格可能性 50%



合格可能性 10%

君の学年	偏差値 (四谷)			
	51~55	56~60	61~65	66~70
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

麻布の 80%合格圏(4 科)は、四谷大塚で偏差値 66 以上、センター模試で偏差値 68 以上、サピックスで偏差値 60 以上、が目安です。

麻布の社会で合格点を取るためには、左の図の実線のように成績が伸びていくことが理想的です。これに対して、6 ヶ月以上も点線のように偏差値が伸び悩んだままですと、初めは晴れマークでも、結局は雨マークになってしまいます。そのような人は、なるべく早く根本的・体系的な学習法を取り戻してください。